年間授業計画

杉並 高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　公民科　　科目 政治・経済演習

教　科：　公民科　　科　目：　政治・経済演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：　秋元　仁

使用教科書：（ 数研出版「政治・経済」　　）

教科　公民科　　の目標：

【知識及び技能】　選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したりする力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，人間としての在り方生き方についての自覚や，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目　政治・経済演習　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・市場経済における，経済活動と市場の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解する。 ・国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動について，現実社会の諸事象を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・市場経済の機能と限界について，代表的な経済学者の考え方や市場構造の変動，具体的な市場における価格形成の事例の考察を通して，多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力】 ・現代経済のしくみの学習を通して，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，主体的に学習に取り組む。	○現代経済のしくみ ・1 市場経済のしくみ	【知識及び技能】 市場経済における，経済活動と市場の働きと仕組みについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 市場経済の機能と限界について，代表的な経済学者の考え方や市場構造の変動，具体的な市場における価格形成の事例の考察を通して，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【学びに向かう力】 現代経済のしくみの学習を通して，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	7
		○現代経済のしくみ ・2 国民所得と経済成長	【知識及び技能】 国民経済の大きさと経済成長，物価と景気変動について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 経済活動と福祉の向上との関連について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力】 経済活動の意義と経済体制の学習を通して，現代日本の経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						1
	【知識及び技能】 ・内閣と行政機構，裁判所と人権保障の在り方について，現実社会の諸事象を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・金融や財政を通した経済活動の活性化について，多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 【学びに向かう力】 ・経済活動の意義と経済体制の学習を通して，現代日本の経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に学習に取り組む。	○現代経済のしくみ ・3 金融のしくみと働き	【知識及び技能】 金融のしくみと働きについて，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 金融を通した経済活動の活性化について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【学びに向かう力】 現代経済のしくみの学習を通して，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	7
		○現代経済のしくみ ・4 財政のしくみと租税	【知識及び技能】 財政の働きと仕組み及び租税などの意義について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 持続可能な財政及び租税の在り方について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。また，歳入・歳出両面での財政健全化について，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述している。 【学びに向かう力】 経済活動の意義と経済体制の学習を通して，現代日本の経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						1
2学期	【知識及び理解】 ・日本経済のあゆみや環境保全，労働問題などについての学習を通して，日本経済と福祉の向上について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会について，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 【学びに向かう力】 ・日本経済と福祉の向上の学習を通して，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，主体的に学習に取り組む。	○日本経済と福祉の向上 ・ 1 戦後日本経済のあゆみと中小企業、食料・農業問題	【知識及び技能】 戦後日本経済のあゆみについての学習を通して，日本経済と福祉の向上について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 戦後日本経済のあゆみについての学習を通して，経済活動と福祉の向上との関連について，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察し，表現している。。 【学びに向かう力】 日本経済と福祉の向上の学習を通して，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	7
		○日本経済と福祉の向上 ・ 2 環境保全，消費者問題と労働問題	【知識及び技能】 環境保全，消費者問題と労働問題について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 多様な働き方・生き方を可能にする社会について，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述している。 【学びに向かう力】 日本経済と福祉の向上の学習を通して，現代日本の経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						1
	【知識及び技能】 ・国際経済及び国際政治の動向について，貿易や為替相場の変動，国家主権と領土問題など，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相互依存関係が深まる国際経済の特質や国際政治をめぐる諸問題について多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力】 ・国際政治の動向の学習を通して，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，主体的に学習に取り組む。	○国際経済の動向	【知識及び技能】 国際経済の動向について，貿易の現状と意義，為替相場の変動など，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 相互依存関係が深まる国際経済の特質について，特に，国際経済では，国内経済と異なり，労働や資金などの移動に多くの面で制約があったが，経済活動がグローバル化し，地球的な規模で自由に行われるようになっている一方，国民経済と国際経済の関係において，国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力】 現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
		○国際政治の動向	【知識及び技能】 国際政治の動向について，人権，国家主権，領土（領海，領空を含む。）などに関する国際法の意義について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に，国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 【学びに向かう力】 国際政治の動向の学習を通して，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら，主体的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査						1
3学期	【知識及び技能】 ・法の支配や立憲主義の考え方をもとに，民主政治の基本原理と展開について，現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主政治の基本原理として，自然権，社会契約，法の支配などの概念や，議会制や権力分立制などとの関連性について多面的・多角的に考察し，表現する。 【学びに向かう力】 ・法の支配や立憲主義の学習を通して，民主政治の基本原理と展開に関わる現実社会の諸課題に主体的に取り組む。	○民主政治の基本原理と展開	【知識及び技能】 法の支配や立憲主義の考え方が成立した近代政治の過程や，それらの考えの基に憲法が定められ，国民の自由や権利が保障されていることについて理解を深めている。また，国際連合により採択された世界人権宣言，国際人権規約などの人権文書の意義を踏まえ，人権擁護は人類共通の課題であるという認識が世界的に広まっていることについての理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 民主政治の基本原理として，絶対主義，自然権，社会契約，法の支配などの概念や，議会制や権力分立制などとの関連性について多面的・多角的に考察し，表現している。また，民主政治の本質の理解を基に，現代政治との関連性を多面的・多角的に考察し，表現している。 【学び向かう力】 民主政治の基本原理と展開の学習を通して，現代日本の政治・現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体	○	○	○	6
							合計 70